

情報公開文書

研究の名称	当院における巨大子宮筋腫合併妊娠の分娩管理についての後方視的研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学学術研究部医学系 産科婦人科学教室 教授 中島 彰俊
①試料・情報の利用目的 及び利用方法(他の機関 へ提供される場合はそ の方法を含む。)	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 子宮筋腫合併妊娠弛緩出血などの産科合併症のリスクが増加し、位置や大きさにより、分娩様式や帝王切開時の子宮筋層切開に影響を及ぼすこともある。帝王切開症例においては、通常の子宮下部横切開法が困難である場合は、児の娩出が最も容易でかつ母体に負担の少ない子宮切開創に決定する必要がある、今後の管理方針の一助とすることを目的とする。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p>【研究対象者】 2020年1月から2025年9月にかけて当院で分娩した5cm以上の子宮筋腫を合併した妊婦において、当院で帝王切開術を施行した症例</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 本研究に関係する企業等は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反はありません。研究資金は発生しません。</p> <p>【個人情報の取扱い】 情報を取得した後は、氏名、診療録ID等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工を行う。加工された情報はパスワードによりアクセス権限が制限されたネットワークに接続されていないパーソナルコンピュータで産科婦人科医局内において管理する。本研究では研究用識別番号と診療録IDとの対応表を作成し、パスワードによりアクセス権限が制限されたパーソナルコンピュータで産科婦人科医局内において加工済みのデータとは別に保管する。本研究に関する情報等は研究成果の最終公表後から10年間保管し、紙媒体の裁断または電子ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄する。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 日本産科婦人科学会で発表</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p>

	<p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 年齢、身長、体重、BMI、合併症の有無、家族歴、産科合併症の有無、分娩方法、麻酔方法、手術時間、出血量、新生児アプガースコア、NICU入院歴、出生体重、臍帯血液ガスデータ、妊娠・産褥期の新規の神経学的イベントの有無、プレコンセプションケアの有無などのデータ</p>
③利用又は提供を開始する予定日	<p>【利用又は提供を開始する予定日】 2026年2月15日</p>
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 山本善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	電子カルテ、台帳から症例を抽出。 2020年1月から2025年9月にかけて当院で分娩した5cm以上の子宮筋腫を合併した妊婦において、帝王切開術を施行した症例の情報を得る。
⑥利用する者の範囲	共同研究機関なし
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院産科婦人科学教室
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。</p> <p>電話番号：076 - 434 - 7357 FAX：076 - 434 - 5036 E-mail：obgyn@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：産婦人科 椎名 咲衣</p>